



# 都路

小さな学校・大きな家族

未来を創る人間性豊かな都路っ子の育成

みずから進んで学ぶ子ども

やさしく思いやりのある子ども

こん気強くやりぬく子ども

じぶんのよさに自信を持ち、さらに伸びようとする心

令和4年7月8日(金) 発行責任者 校長 國分 洋

## 「ふるさと都路の魅力」を伝えたい

### 都路地区少年の主張大会

都路小HP (R4.7.7現在)

訪問者 452,018人

アドレス

都路っ子の活動をほぼ毎日更新中!



6月29日(水)、本校体育館において 田村市少年の主張大会都路地区大会が開催されました。多くの保護者、地域の皆様にご来場いただきましたかったのですが、コロナ禍のため、4年生以上の小中児童生徒、小中教職員、審査員、発表者の保護者のみの参加者制限開催でありました。

小学校からは5年はやたさん、6年まおさんの2名が代表として発表しました。はやたさんは「知名度アップ大作戦」、まおさんは「最高の福島」と題し、ふるさと福島、ふるさと都路への熱い思いや願いを堂々と発表することができました。厳正な審査の結果、8月7日(日)午前10時から市文化センターで開催される市少年の主張大会では、都路地区小学生代表として6年まおさんが出場します。市の本大会でも応援をよろしくお願いいたします。



#### 「最高の福島」

「福島県は汚染されているからいやだ。」インターネットでこの言葉を見かけたとき、わたしの心にグサリとささりました。それと同時に、この心ない言葉への強い怒りを覚えました。

東日本大震災。あの大地震が起こった後、福島県の原子力発電所が爆発し、放射線放出により、たくさんの区域での行動が制限され、多くの人々がひなん生活をよぎなくされました。私の住む都路もその一つでした。

あの日から十一年の月日が経ちました。それなのに、まだ多くの人たちが福島に対して偏見や負の考えをもっていることを知り、ショックを受けました。なぜそんな偏見が生まれているのか、そのことをインターネットでけんさくしたり、話を聞いたりすると、今でも福島県民がいやがらせやいじめなどを受けていることが分かりました。私は、福島県をばかにされたような気持ちになり、とても腹立たしく思いました。

そこで、「今の福島を知ってほしい」と逆に思うようになりました。そして、福島の実状について調べてみました。

調べて分かったことは二つあります。一つ目は、福島第一原発付近では、もうふつうの作業着で仕事ができるようになっていくということです。震災当時は放射線などから身を守るため、ぼうご服を着なければ仕事もできませんでした。しかし、今では、普通の服で仕事をしたり、観光したりできるようになっています。このことを初めて知ったとき、「人の力でこんなにも復興が進展できるなんてすごい!」と感激しました。

二つ目は、まだ「廃炉作業が続いている」ということです。「廃炉」とは、原子力発電所が爆発したとき、放射線を強く浴びてしまった物などを廃棄することです。それが十年以上も続いているのです。このことから分かります。廃炉作業のためにたくさんの人たちが苦勞しています。都路地区でも、除染作業のためにたくさんの人が努力をしました。私たちがこうして安心して福島県に住んでいるのもすべてその方々のおかげなのです。

また、まだ自分たちのこきょうに帰れない人たちもたくさんいました。その影響もあり、福島からはなれてしまったり、他の県に移り住んでしまったりする人が多く、福島県の人口が減ってしまいました。

ここまで、福島県の実状を調べてみて、

「福島はもっといいところだと伝えたい」、「福島に気持ちだけでも、もどってほしい」という思いが強くなりました。私でもできることを一つ考えました。

それは、「福島のみかをとにかくPRする」ことです。例えば、福島といえば、「赤べこ」というイメージはありませんか?その赤べこ以外にも福島の良いところをくわしく調べたりしてPRする、など他にもたくさんのPR方法があります。私の住む都路地区にもよいところはたくさんあります。例えば、都路の卵を使用している「ゆいプリン」や観光場所にもなっている亀石や行司ヶ滝など、ほかにもたくさんあります。これら都路のみかあふれる場所をもっと多くの人たちに広めていきたいです。

みなさんも「今の福島」のみかを伝えていきませんか?私はこれからも、都路や福島県に住んでいる方の思いをおねに、「最高の福島」を全国の人に伝えていきます。



### 「知名度アップ大作戦」

ぼくは考えました。どうしたら都路を多くの人に知ってもらえるのか。

ぼくが住んでいる田村市都路町は、市の中心地からはなれていて、車で三十分かかります。人口が少なく、町の四十五パーセントは六十五才以上の高齢者だそうなんです。

人が少ない田舎と思われがちなのですが、ぼくは自然がいっぱいある都路が大好きです。そこで、良い所がたくさんある都路をもっとPRして知名度を上げたいと考えました。多くの人に知ってもらえることができれば、観光に来てくれる人の数もふえてにぎやかになると思ったからです。

ぼくは、知名度を上げるための作戦を二つ考えました。一つ目の作戦は、食べ物や飲み物でPRすることです。都路には、たまごやプリン、とうふなどおいしい食べ物がたくさんあります。また、ぼくの小学校では、数年前に先輩たちが、都路のキュウリを使ったキュウリジャムを生み出しました。キュウリジャムを入れたパンや、田村市でとれたパッションフルーツを使った都路ならではのジュースを作れば、子どもや若い人も興味をもってくれると思います。他にも、自然がいっぱいという良さをPRするために、ゼリーを考えました。例えば、キウイやマスカットなど緑色の果物を使って自然をイメージした色にしたいです。ゼリーの上には、ぼくの小学校にあるかさ松の形に切った果物をのせて今までにないデザートにできたらいいです。都路や田村でとれたものを生かした商品を作ることで、食べたい、行きたいと思ってもらえたら嬉しいです。

知名度を上げる二つ目の作戦は、動画を使ったPRです。都路には、行司ヶたきや五十人山、かめ石などの観光地があります。またたくさん竹のとうろうがかざられる都路ひ祭りや、ディスクゴルフというめずらしいスポーツができる場所もあります。タブレットのアプリを使って画像や音声を組み合わせると、かんたんに動画を作ることができます。もっと観光地について取材をして、映画の予告のような動画にしたいです。その動画をインターネットで発信すれば、日本中の人を知ってもらえることができます。動画を見た人に都路に行ってみようと思ってもらいたいです。

知名度をアップさせることはかんたんなことではないかもしれませんが、でも、PRしなければ何も始まらないので、新しい名物や動画を作って少しずつ知ってもらえるようにしたいです。興味をもって食べに来てもらう、遊びに来てもらうことで、もっと明るくにぎやかな都路になるのが楽しみです。知名度アップ大作戦が成こうするように、ぼくもできることから始めていきます。



## 猛暑に負けず大健闘！！県小学生陸上競技交流大会

7月3日（日）に福島市とうほうみんなのスタジアム（県営あづま陸上競技場）で開催された第38回県小学生陸上競技交流大会日清食品カップ県大会では、本校から県中地区予選を突破した5、6年生6名が出場し、気温35度を超える猛暑の中、ベストを尽くし、すばらしい成績を収めることができました。

男子コンバインドBでは、そうたさんが、5、6年生の出場者の中、総合7位に輝き、5年生出場者の中ではトップの記録でありました。9月には6年生が出場する田村地区陸上大会が開催されます。今後とも皆様の応援をよろしくお願いいたします。

種目	学年	「児童名・記録」について	総合
男子コンバインドA(80mH・走高跳)	5	「児童名・記録」については、紙面に掲載したものを配付させていただきましたが、ホームページ上での掲載は個人情報のため、控えさせていただきます。	7位
	5		
女子コンバインドA(80mH・走高跳)	6		
	6		
男子コンバインドB (走幅跳・ジャベリックボール投)	5		
	5		



## 全校学習旅行「キッザニア東京」の実施について

7月4日付「全校学習旅行の実施について」お知らせしたところでありますが、報道等でもご存じのとおり、東京都の感染が、5日から急激に拡大しており、感染者数は1週間前の2.4倍の状況です。また、東京都では、感染力の強い「BA.5変異株」の感染者も急増しています。

つきましては、週明けの東京都の感染状況を見極め、市教育委員会や旅行会社と協議し、来週中には、実施か延期（秋）の判断をいたします。

子どもたちとご家族の健康と安全安心を第一に考え、判断してまいりますので、ご理解をいただきたくお願いいたします。